

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

### 記

#### 新規受託項目

- [13036] STDマイコプラズマ核酸同定

#### 受託開始日

- 2023年2月1日(水)

(お知らせ)

[04900] STDマイコプラズマ同定につきまして、INFORMATION(22-41)にて2023年3月末とご案内しておりました検査中止期日を2023年1月31日(火)に変更させていただきます。2023年2月1日(水)以降、上記項目をご依頼ください。

先生方にはご不便をお掛けすると存じますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。



# STDマイコプラズマ核酸同定

非クラミジア性非淋菌性の性感染症の原因とされるマイコプラズマ属（ジェニタリウム、ホミニス）およびウレアプラズマ属（ウレアリチカム、パルバム）を検出します。

男性尿道炎の37%は非クラミジア性非淋菌性であり、マイコプラズマ・ジェニタリウム (*Mycoplasma genitalium*) が最も高頻度に検出され、次いでウレアプラズマ・ウレアリチカム (*Ureaplasma urealyticum*) が検出されると報告されています。*M. genitalium*は男性の尿道に対する病原性が明らかにされており、薬剤耐性化が世界的に問題になっています。*U. urealyticum*は淋菌性尿道炎およびクラミジア性尿道炎患者での重複感染が多く、男性不妊症との関連も研究が進められています。マイコプラズマ・ホミニス (*Mycoplasma hominis*)、ウレアプラズマ・パルバム (*Ureaplasma parvum*) は尿道炎症例で検出されることがありますが、尿道炎の原因であることは明らかにされていません。

女性では*M. genitalium*感染が子宮頸管炎、骨盤内炎症性疾患、早産、自然流産との関連が高いことが示されています。*U. urealyticum*、*U. parvum*、*M. hominis*は細菌性膣炎や骨盤内感染症との関連や不妊、早産、流産との関連を示唆する報告があります。

本検査は、リアルタイムPCR法により泌尿器系材料からマイコプラズマ属およびウレアプラズマ属の菌の検出が可能で、性感染症の原因究明・治療方法の研究に有用と考えられます。

## 検査要項

	新規受託開始項目	現行項目 (参考情報)
項目コード	13036	04900
検査項目名	STDマイコプラズマ核酸同定	STDマイコプラズマ同定
検体量	初尿 2mL <sup>*1,2</sup> [容器番号：100番] または ぬぐい液 <sup>*1,2,3</sup> [容器番号：101番]	初尿 8mL <sup>*1,2</sup> [容器番号：55番] または ぬぐい液 <sup>*1,2,3</sup> [容器番号：57番]
保存方法	冷蔵	同左
検査方法	リアルタイムPCR法	PCR法/インベーター法
基準値	<i>M. genitalium</i> 検出せず <i>M. hominis</i> 検出せず <i>U. parvum</i> 検出せず <i>U. urealyticum</i> 検出せず	同左
報告様式	検出せず/陽性/判定不能	同左
所要日数	2～3日	3～4日
検査実施料	未収載	同左
備考	*1：専用容器は、あらかじめご依頼ください。 *2：必ず専用検体としてご提出ください。 *3：咽頭材料は参考値報告になります。	*1：専用容器は、あらかじめご依頼ください。 *2：必ず遺伝子検査の専用検体としてご提出ください (同一検体で病原体核酸検査以外の項目との重複依頼は避けてください)。 *3：咽頭材料は参考値報告になります。